第４学年　道徳科学習指導案

日　時　７月１１日　５校時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　対　象　４年１組　３０名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　授業者　會津　聡子

　１　教材名　「心と心のあく手」（新版みんなのどうとく１年　学研教育みらい）〈Ｂ-(７)親切，思いやり〉

　２　テーマ　「親切」について新たな価値観を獲得しようとする学びっぷり

　３　本時の授業

（１）目標

　　　　ぼくとおばあさんの心情を考える活動を通して，声をかけずに見守ったことも相手を喜ばせた行為であることに気付き，親切についての考えを深めることができる。

（２）展開

|  |  |
| --- | --- |
| ○主な発問　●中心発問  　・予想される児童の発言・思考 | ・教師の働きかけ　◎評価 |
| １　「親切」について考える。  ○親切な人ってどんな人かな。  ・助けてくれる。  ・やさしくしてくれる。  ・相手のことを考える。  「親切」にするときに大切なことはなんだろう。 | ・身の回りにある「親切」についてのイメージを膨らませ，学習への意欲を高める。  ・現状の価値観を表出させながら，学習課題を設定する。 |
| ２　「心と心のあく手」を読んで考え，話し合う。  ○声をかけたとき，そっと後ろをついて行ったとき，それぞれどんな思いだったのだろう。  ・おばあさんを助けたい。  ・おばあさんが心配。  ・おばあさんを応援したい。  ・転ばないように見守ろう。  〇おばあさんは，どんな思いで歩いていたのかな。  ・歩けるようになりたい。  ・リハビリを頑張ろう。  ・頑張りたいけれど，一人だと心配。  ●そっと，後ろをついて行ったのはおばあさんに直接何かしていないけれど，親切と言えるかな。  ・おばあさんのことを本当に考えているから親切だと思う。  ・声をかけたのも，後ろを歩いてくれたのもうれしいと思うからどちらも親切。  ・あえて何もしないこともその人のためだから親切だと思う。  ・何かしてあげることだけが，親切ではないと思う。 | ・声をかけたとき，後ろをついて行ったときの気持ちを出させる。  ・実際に声をかける，後ろをついていくという行為は違うが，おばあさんを思う気持ちは同じであることに気付かせる。  ・おばあさんは自分の力で歩いてトレーニングしたいことを確認する。  ・声をかけられたときと，後ろをついてきてくれたときのどちらもうれしかったことに気付かせる。  ・意見の交流を通して，相手のことを深く思うことが親切にするときに大切だと気付かせる。 |
| ３　学習のまとめ  ○今日の学習で思ったことや深く考えたことは何ですか。  ・今までは，何かしてあげることが親切だと思っていたけれど，相手のことを考えてしてあげることは，行動していなくても親切になる。  ・相手の気持ちを考えて親切にしたい。 | ◎直接何かしていなくても相手に対する深い思いやりがあれば親切であることに気付き，発言やノートへの記述で表現することができている。  （発言・ノート）  ・本時で感じたことや深く考えたことについて，ノートにまとめさせる。 |